



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場会社名 株式会社 オートバックスセブン  
コード番号 9832 URL <http://www.autobacs.co.jp/>

上場取引所 東 大

代表者 (役職名) 代表取締役  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・財務担当  
四半期報告書提出予定日 平成24年2月7日

(氏名) 湧田 節夫  
(氏名) 勝島 雅彦

TEL 03-6219-8829

配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	187,666	△0.0	12,961	20.9	14,409	28.1	8,245	40.7
23年3月期第3四半期	187,694	0.6	10,724	3.5	11,244	△2.6	5,862	3.4

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 7,742百万円 (41.3%) 23年3月期第3四半期 5,479百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	246.66	—
23年3月期第3四半期	168.06	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	232,627	145,581	62.4	4,444.24
23年3月期	207,794	147,962	71.0	4,307.43

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 145,071百万円 23年3月期 147,504百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	65.00	—	70.00	135.00
24年3月期	—	70.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	70.00	140.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	233,800	△1.1	12,800	6.8	14,700	12.6	8,300	34.3	254.27

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	34,251,605 株	23年3月期	37,454,204 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,609,093 株	23年3月期	3,209,982 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	33,427,997 株	23年3月期3Q	34,880,462 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
( 1 ) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
( 2 ) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
( 3 ) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2 . 四半期連結財務諸表 .....	4
( 1 ) 四半期連結貸借対照表 .....	4
( 2 ) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第 3 四半期連結累計期間 .....	6
( 3 ) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
( 4 ) セグメント情報等 .....	8
( 5 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
3 . 補足情報 .....	10
販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### 事業環境

当第3四半期連結累計期間における国内の自動車関連消費におきましては、東日本大震災後の自動車生産台数の低迷に伴う新車の供給及び販売台数の減少によるカーアクセサリーの需要減少や、タイの洪水被害による生産停止でカーナビゲーションの品揃えに影響が出るなど、厳しい経営環境に見舞われました。一方で、平成23年7月の地デジ移行に伴う地上波デジタルチューナーの需要増加、震災後の復興に伴う東北地方を中心としたメンテナンス関連用品や中古車の需要増、さらにタイヤ価格の値上げや寒波に伴うスタッドレスタイヤの需要増など、売上を押し上げる要因もありました。

#### 国内店舗における営業状況

当第3四半期連結累計期間における日本国内のオートバックスチェーン（フランチャイズチェーン加盟法人店舗を含む）の全業態の売上高は、前年同期比で既存店0.6%の減少、全店は前年並みとなりました。

「カー用品販売」におきましては、タイヤ、オイル、バッテリーという自動車のメンテナンスに関わる商品に重点を置いた販促施策を新聞広告、テレビCM、チラシなどを連動させて展開いたしました。タイヤ販売では、気候や震災の影響によりスタッドレスタイヤからの履き替え時期が4月以降にずれ込んだこと、ナショナルブランドのタイヤの値上げ、10月以降に日本海側を中心に降雪があったことなどにより売上が増加いたしました。カーエレクトロニクス商品では、平成23年7月の地上波テレビのデジタル放送への移行に伴い、地上波デジタルチューナーの販売が好調だったものの、カーナビゲーションは震災やタイの洪水により新製品などの品揃えに影響があったことや、売れ筋商品の変化に伴う単価下落により売上が減少いたしました。車内アクセサリーやインテリア商品は第2四半期までの新車販売台数の不振の影響により売上が減少いたしました。

「車検・整備」は、震災や販促活動の自粛などにより第1四半期において売上が伸び悩んだものの、第2四半期以降は電話による販促活動や店舗における継続的な取り組みにより回復し、車検実施台数は前年同期比8.4%増加の約37万3千台となりました。

「車販売・買取」は、第2四半期までは前年度に比べて新車の販売台数が減少した一方、被災地における中古車需要の高まりに応じて中古車市場が活発化し、店舗における買い取りと主に東北地方の小売売上が好調となりました。第3四半期は新車の販売台数が回復基調にあり、この結果、第3四半期累計の販売台数は前年同期比6.9%増加の約1万2千4百台となりました。

#### 連結業績

当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年並みの1,876億66百万円、売上総利益は前年同期比2.7%増加の598億15百万円、販売費及び一般管理費は前年同期比1.4%減少の468億53百万円、営業利益は前年同期比20.9%増加の129億61百万円となりました。営業外収支の増加は、主に前年と比較して為替差損が減少したことなどによります。この結果、経常利益は前年同期比28.1%増加の144億9百万円となりました。また、特別損失として店舗の移転や退店に伴う固定資産の売却損や減損、店舗整理損など1億15百万円を計上いたしました。これらの結果、四半期純利益は前年同期比40.7%増加の82億45百万円となりました。

セグメント別の業績につきましては、以下の通りであります。

#### <当社>

売上高は、前年同期比0.6%増加の1,586億52百万円となりました。フランチャイズチェーン加盟法人に対する卸売部門では、カーエレクトロニクス、車内用品、カースポーツ用品の売上が減少したものの、タイヤや車外用品、さらに売場改装に伴う店舗への商品及び什器などの売上が増加し、前年同期比0.9%増加いたしました。小売部門では、直営の中古カー用品店の閉店や一部店舗の改装に伴う休業などにより、売上が前年同期比5.1%減少いたしました。

売上総利益は、前年度に比べタイヤや地上波デジタルチューナーの売上が増加したことや、さらにカーナビゲーションの粗利率のコントロールに努めたことなどにより前年同期比5.5%増加の335億28百万円となりました。販売費及び一般管理費は、前年度に比べて販促活動の絞り込み、弁護士費用などの支払手数料の減少などにより、前年同期比4.5%減少の205億75百万円となりました。これらの結果、営業利益は前年同期比26.5%増加の129億53百万円となりました。

#### <国内店舗子会社>

売上高は、前年同期比0.1%減少の625億41百万円、営業利益は前年同期比6.1%減少の6億74百万円となりました。タイヤ・ホイール、地上波デジタルチューナーの売上が好調であり、タイヤの仕入量増加の効果もあり売上総利益率が改善いたしました。販売費及び一般管理費は売場改装や新規出店関連費用の増加などにより前年同期より1.4%増加いたしました。

#### < 海外子会社 >

売上高は前年同期比5.3%増加の70億1百万円、営業利益は前年同期に比べ92百万円改善し73百万円の黒字となりました。フランスでは、第2四半期以降に欧州の経済不安や前年と比較して暖冬の影響を受けたものの、タイヤを中心とした販促活動やクリスマス商戦向けのカーエレクトロニクスの売上が店舗売上と粗利率の向上に貢献し、さらに販売費及び一般管理費のコントロールができたことから収益が改善いたしました。中国では上海において平成23年5月に新店した直営2号店の店舗オペレーションやお客様の認知度向上などにおいて模索が続いているものの、現地FC法人向けの卸売や日本向けの輸出などの増加により、売上は増加し、営業損失は昨年度より改善いたしました。シンガポールでは第3四半期になって欧州の経済不安の影響が出てきたものの、既存店の売上は好調だったことなどにより営業利益が増加いたしました。また、平成23年12月に3号店となるロイヤン店を出店いたしました。タイは政情不安や洪水など厳しい事業環境の下、売上は減少したものの、経費のコントロールに努めた結果、営業利益は横ばいとなりました。

#### < 事業子会社 >

売上高は、オイルの卸売が減少したことなどにより、前年同期比4.3%減少の100億2百万円、営業利益は前年同期比36.0%減少の1億99百万円となりました。

#### < 機能子会社 >

売上高は、52.6%減少の25億39百万円、営業利益は前年同期比23.5%減少の3億40百万円となりました。主に子会社であった株式会社プレーニングを平成22年8月に当社が吸収合併したことによるもので、この影響を除くとほぼ前年並みの売上高と営業利益となりました。

#### オートボックス2010中期経営計画の進捗状況

「オートボックス2010 中期経営計画」における主な施策の進捗に関しましては、売場改革においては今期216店舗実施する計画のオートボックス業態の改装を当第3四半期連結累計期間中に計画通り147店舗実施いたしました。改装を行った店舗は売上、客数、粗利益などにおいて未改装店を上回っており、改装の狙いであったメンテナンス関連の商品・サービスの売上が伸長するなど、一定の効果があらわれております。新規出店につきましては、小型店舗を中心に15店舗出店いたしました。なお、今期の新規出店計画は31店舗から23店舗程度になる見通しであり、これは主に新店予定物件が最終的に契約締結に至らないなどの理由によるものであります。また、仕入改革においては仕入先との戦略的な取り組みにより粗利率の改善を進めております。さらに、人材とオペレーション改革においては前年度に引き続き接遇研修を実施し、オートボックスチェーン総従業員の約71%の受講が完了いたしました。外部機関による調査を実施した結果、店舗の接遇の状況は改善しており、研修の成果が確認されております。

#### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ12.0%、248億32百万円増加し、2,326億27百万円となりました。これは、主に有価証券が減少した一方で、受取手形及び売掛金が増加したことなどによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ45.5%、272億13百万円増加し、870億46百万円となりました。これは、主に長期借入金が増加した一方で、支払手形及び買掛金が増加したことなどによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1.6%、23億81百万円減少し、1,455億81百万円となりました。これは、主に自己株式の取得、利益剰余金の配当等によるものであります。

#### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成23年10月27日公表の業績予想数値から変更はありません。なお、実際の業績につきましては、今後の天候など様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	43,767	43,181
受取手形及び売掛金	22,977	39,618
有価証券	13,348	10,447
商品	17,461	20,405
未収入金	17,655	24,847
その他	18,077	18,526
貸倒引当金	256	201
流動資産合計	133,031	156,826
固定資産		
有形固定資産		
土地	21,695	22,835
その他(純額)	15,236	16,389
有形固定資産合計	36,931	39,225
無形固定資産		
のれん	913	752
その他	5,024	4,926
無形固定資産合計	5,938	5,678
投資その他の資産		
差入保証金	19,997	19,325
その他	15,613	14,996
貸倒引当金	3,718	3,425
投資その他の資産合計	31,893	30,896
固定資産合計	74,763	75,800
資産合計	207,794	232,627
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,307	39,318
短期借入金	3,164	3,200
未払法人税等	3,505	3,957
事業再構築引当金	1,101	1,037
その他の引当金	328	427
その他	17,241	20,587
流動負債合計	40,648	68,528
固定負債		
社債	205	155
長期借入金	8,481	7,374
引当金	381	384
資産除去債務	1,731	1,795
その他	8,383	8,808
固定負債合計	19,183	18,517
負債合計	59,832	87,046

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,998	33,998
資本剰余金	34,278	34,278
利益剰余金	89,984	82,916
自己株式	10,636	5,494
株主資本合計	147,624	145,698
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21	82
為替換算調整勘定	141	545
その他の包括利益累計額合計	120	627
少数株主持分	458	510
純資産合計	147,962	145,581
負債純資産合計	207,794	232,627

( 2 ) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
( 第 3 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 百万円 )

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
売上高	187,694	187,666
売上原価	129,473	127,851
売上総利益	58,220	59,815
販売費及び一般管理費	47,496	46,853
営業利益	10,724	12,961
営業外収益		
受取利息	123	123
受取配当金	34	35
持分法による投資利益	39	72
情報機器賃貸料	869	915
その他	2,138	2,278
営業外収益合計	3,205	3,425
営業外費用		
支払利息	149	125
情報機器賃貸費用	873	956
為替差損	497	261
その他	1,165	632
営業外費用合計	2,685	1,976
経常利益	11,244	14,409
特別利益		
固定資産売却益	437	-
貸倒引当金戻入額	504	-
事業再構築引当金戻入額	156	-
特別利益合計	1,098	-
特別損失		
固定資産売却損	-	29
減損損失	318	33
店舗整理損	282	51
特別退職金	460	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,166	-
特別損失合計	2,227	115
税金等調整前四半期純利益	10,116	14,294
法人税、住民税及び事業税	2,826	5,965
法人税等調整額	1,372	63
法人税等合計	4,199	6,028
少数株主損益調整前四半期純利益	5,916	8,266
少数株主利益	54	20
四半期純利益	5,862	8,245



(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主利益	54	20
少数株主損益調整前四半期純利益	5,916	8,266
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45	105
為替換算調整勘定	395	420
持分法適用会社に対する持分相当額	2	1
その他の包括利益合計	437	523
四半期包括利益	5,479	7,742
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,439	7,737
少数株主に係る四半期包括利益	39	4

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	当社	国内店舗 子会社	海外 子会社	事業 子会社	機能 子会社	合計
売上高						
外部顧客への売上高	113,635	62,135	6,520	4,656	745	187,694
セグメント間の内部売上高又は振替高	44,119	446	127	5,791	4,614	55,100
計	157,755	62,582	6,647	10,448	5,360	242,794
セグメント利益又は損失( )	10,238	718	19	312	445	11,695

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	11,695
棚卸資産の調整額	609
セグメント間取引消去	225
のれんの償却額	175
ポイント引当金洗替額	0
固定資産の調整額	34
その他	5
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	10,724

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	当社	国内店舗 子会社	海外 子会社	事業 子会社	機能 子会社	合計
売上高						
外部顧客への売上高	113,662	61,845	6,818	4,614	726	187,666
セグメント間の内部売上高又は振替高	44,989	695	183	5,388	1,813	53,070
計	158,652	62,541	7,001	10,002	2,539	240,737
セグメント利益	12,953	674	73	199	340	14,242

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	14,242
棚卸資産の調整額	693
セグメント間取引消去	343
ポイント引当金洗替額	83
のれんの償却額	58
固定資産の調整額	37
その他	63
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	12,961

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第1四半期連結累計期間に発表いたしました「オートボックス2010 中期経営計画」による店舗収益向上策の進展に伴い、当社からの店舗支援の重要性が増したことから、国内店舗子会社及び海外子会社の営業成績の実態をより的確に把握するために、第1四半期連結会計期間より、予算管理方法を変更しております。この変更に伴い、従来、セグメント利益の測定対象としていなかった当社からの店舗支援に関する収入について、セグメント利益の測定対象としております。

なお、測定方法を変更した取引はセグメント間の取引であるため、四半期連結損益及び包括利益計算書への影響はありません。

当該変更により、前第3四半期連結累計期間について組替再表示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は平成23年5月11日開催の取締役会決議により、平成23年5月12日から平成23年12月21日までの期間に自己株式1,600,000株、取得価額の総額5,458百万円を取得しております。

また、同取締役会決議により、平成23年5月18日に自己株式3,202,599株の消却を実施したことにより、自己株式が10,606百万円減少し、あわせて利益剰余金が同額減少いたしました。

3. 補足情報

販売の状況

部門別売上状況

部門	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		
	金額(百万円)	構成比(%)	前年同期比(%)
卸売部門	109,952	58.6	100.4
小売部門	75,147	40.0	99.5
その他(リース物件の賃貸借料)	2,567	1.4	97.1
合計	187,666	100.0	100.0

(注) 表示金額には、消費税等は含まれておりません。

## 商品別売上状況

品目	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		
	金額(百万円)	構成比(%)	前年同期比(%)
卸売部門			
タイヤ・ホイール	29,512	26.8	112.0
カーエレクトロニクス	30,810	28.0	92.4
オイル・バッテリー	12,622	11.5	98.6
車外用品	10,703	9.7	103.1
車内用品	9,373	8.5	97.2
カースポーツ用品	5,886	5.4	91.5
サービス	1,823	1.7	121.4
その他	9,218	8.4	101.8
小計	109,952	100.0	100.4
小売部門			
タイヤ・ホイール	16,342	21.7	105.5
カーエレクトロニクス	15,680	20.9	98.1
オイル・バッテリー	6,389	8.5	98.8
車外用品	8,021	10.7	99.2
車内用品	6,853	9.1	95.7
カースポーツ用品	4,567	6.1	91.9
サービス	12,136	16.1	102.2
その他	5,155	6.9	93.1
小計	75,147	100.0	99.5
その他(リース物件の賃貸借料)	2,567	-	97.1
合計			
タイヤ・ホイール	45,855	24.4	109.6
カーエレクトロニクス	46,491	24.8	94.3
オイル・バッテリー	19,012	10.1	98.7
車外用品	18,725	10.0	101.4
車内用品	16,226	8.7	96.6
カースポーツ用品	10,453	5.6	91.7
サービス	13,960	7.4	104.4
その他	16,941	9.0	98.3
合計	187,666	100.0	100.0

(注) 1. 表示金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 卸売部門及び小売部門の「その他」は、車販売収入、中古カー用品販売及びロイヤリティ収入等であり  
ます。

3. 持分法適用関連会社(株)バッファロー他4社に対する売上高は、卸売部門に入っております。